

本草圖譜 山草部

二



		一七四六八	和書門
		二一七	
四六	冊架函	號	

庫	文	閣	内	
九六		一七四六八	和書	
二三四	冊架函	號		

内閣文庫	
番號	和 17468
冊數	4 (2)
函號	196 195



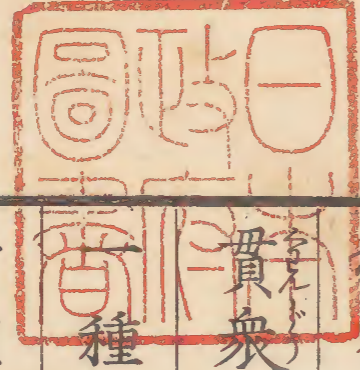
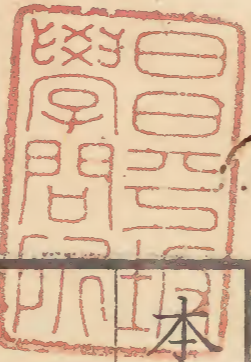
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



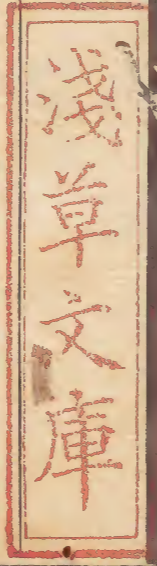
© Kodak, 2007 TM: Kodak





本草圖譜卷之六目錄

山草類 一之下



一種	長葉之物	遠志	ひめまき	八
一種	あぶつ福のみ	かきつばた		七
一種	ほろ貫衆	巴戟天		六
一種	やまそり	一種	たまーだ	五
貫衆	ちりめん貫衆	一種	あがら	四
狗脊		一種	あぢら	二

本草圖譜

卷之六目錄

一

權園湖藏

一種	大葉之物	百脉根	あぐり	九
一種	紅黄花	淫羊藿	漢種	十
一種	いかりさう大葉紅花	一種	五辨	
一種	小葉白花	一種	大葉白花	十一
一種	いかりさう	一種	肥後之産	
仙茅	きんごのさく	一種	挾葉	十三
玄參	淡黄花	一種	紫花	十五
地榆	蠻産	一種	加州産	

一種	信州産	一種	日れもかう	十八
一種	白花	丹參	紅花	
一種	紅白斑点	一種	黄花	二十
紫參	なるらのを	一種	らんゆふで	廿一
王孫	おみのまゆたを	一種	青莖	廿二
紫草	むらさき	白頭翁	よしのなを	廿三
白及	あらん	一種	白花	廿四
三七		一種	水前草	廿六

本草圖譜卷之六

東都

岩崎常正著

山草類

一之下

四十四種



狗脊 くせき
いぬがせき

鹿々山中まぐさやまに生なず
 根横ねよこに其形そのかたち狗いぬの
 脊せきの如ごとく折おれ
 緑色きょくしよを黒くろ狗脊くせきと
 先まに華はなアアびんびんたいたいを
 充みつつんん穂ほちちすす



一種 ちのちだ

豆州房州其外處々山中ふあり番
りねかんをふゆる短く地を覆ふ葉の面
芽をふくむと葉をけりぬけふ子
一たと名づく又形状同して子を持
かすもあり二種とす根小を草
黄赤色の毛茸ありこれ金毛狗脊の
一種なり



貫衆

ちりぬ貫衆 戸江

紀州及下野に産る
形状が初小似て
大甲て冬爛ます



あがら

處々深山に生る



やまそとろ



たまーだ

八丈島小多し葉長一尺
根より細線を生じ又葉の
根下小塊あり毛茸多し





江貫衆

たまにたふぬて葉の
枝より芽を生ず



巴戟天

九州より葉の長さ二尺小本あり
結実す葉木連し根長きもの
一寸一葉ごとの細刺あり根連珠と
あり花白く実紅色なり

あづきの木



豆 天台山に産す
葉圓くして尖りあり
葉の二尺をうり刺あり
五瓣の小白花を用き
実と橙く紅色南燭子
より小根連珠と云
一株細葉のものあり
葉毒度木部の葉
して小ありこれ根連
珠をあるに刺虎の
属あり

かきの木



山城国天台山及甲州に産す
春宿根より生ずり葉小似て軟あり
七八寸末に穂とありて黄色の花を用く形
唇の如く形覇齒花ふみ似たり根黄白色連
珠とあるに物獲頌云山葎根の類あり

本草綱目 卷之六 遠志

長葉のかきのえき



遠志

すめてぎ 江戸

山野陽地あり小草あり葉ハ絡石好カシ似テ春月掛間ハ小紫花ト開ク後扁莢を結ぶ根莖白色ナリ

細葉の物

上品ナリ



本草綱目 卷之六 遠志 権園月蔵

本草圖譜 卷之六 遠志 百脉根

一種大葉の物



遠志より大葉の物
茎一尺をこり根硬く
潤あり奥州常州
此品のより下品なり

百脉根 みやくん

原野より多し宿根
より生る花黄色豆
花より似て小あり後
細き莢と濛ぶ根細く
白色なり



一種花穂とあり物
花紅黄色あり

本草圖譜 卷之六 遠志 百脉根 九 灌園閣藏

淫羊藿

漢程氏云言二三尺九葉とあり其葉の形
似海棠と似て硬く周りに軟刺ありて光澤あり

春月葉とこめ小穂とせし
紫色と帯ふ閑くさるる淫羊
褐色いかりさうの花と大よ
異なり茶用は上品なり



本草綱目 卷之六 十一



Saka no tane

葉莖一尺余花八常のいかりさうほ
 他て紅色肥大あり以下ま和春之

一種 徳の止りの花ハ五瓣
 中て海紅色の物

一種 此品ハ常のいかりさうより苗葉
 とも小く花白色ありもの



一種

葉莖肥大小花も又
 大ゆて白色の物

本草綱目 卷之六 十一 藿園圖載

一種いかりささ

慶長山中より三枝九葉をあり苗葉小あり
花八四瓣形いかりの如く紅色なり



一種

肥後の熊本に産あり
苗葉小あり一茎二葉
をあり花六瓣形茉莉
花に似て小く白色なり
ささの花と異なり是を
江戸中て梅とて吟ぶ



本草綱目 卷之六 仙茅

仙茅 きんむしのぞう

紀州徳野駿州
壘肥前八郎山
茅小生及葉ハ藜
蘆ニ似テ瘠小根
叢生一根ト六辨
の老花を開キ後
実と結ぶ茎臺す
似て黒色あり



一種

挾葉のきんむしのぞう



本草綱目 卷之六 仙茅 十三 謹園月蔵

本草綱目 卷之六 玄參

玄參 ぐんじん ぶしまくろ



武州 礪川 小なるハ花 淡黄色 唇の
如く 天麻 花は似て 小く 黄色 葉ハ胡
麻ニ似て 方茎 對生 根の形 天門冬
或ハ著 積の如く 生々 白色 乾くと 灰ハ
黒色 滋潤 あり



本草綱目 卷之六 玄參

本草綱目 卷之六 十四 澤蘭

一種

武州道灌山煉馬大箕谷和州
豆列平井山等ふあり上品なり
形状前種と同一く茎紫色花
紫黒色根肥大なり



本草綱目 卷之六 十五 澤蘭

本草圖考 卷之六 十五 濟南府

地榆

ヒムビ子ルヲ蘭

蠻種渡り今世ふまじ
子と下してけり又宿
根よりもけり紫の季陵
葉ふ似て園とあり日れも
かゝる似く小なり花を
これもかゝる似て紅色
の如き紅色の葉と
吐出す根直下して軟
なり此品ハ即救荒本
草の胡蒼耳なり



林藪蘭 卷之六 地榆 十五 濟南府

一種

加^カ刈^カ白^{ハク}山^{サン}ノ^ノ蔴^マノ^ノ葉^エノ^ノ長^{ナガ}大^{オホ}ナ^ニシ^テハ
粉^コ緑^{キョク}色^{シキ}花^{ハナ}穂^ホ長^{ナガ}シ^クテ^ハ垂^{タラシ}キ^ニ紅^{ベニ}色^ノノ^ノ長^{ナガ}葉^エト^ト出^デル^{コト}
本^ホノ^ノ葉^エノ^ノ上^{ウヘ}ノ^ノ方^{カタチ}



地榆

本草圖譜 卷之六 十一 澤園閣藏



葉短く粉綠色花色
 淡く末より下る
 紅緑と垂る如し以
 上二種根柔みして
 即綿地榆なり

かしのこま 信州

一種
 われもかう



一葉の形柳榆に似く
 花の形人の木の葉に
 似て紫黒色なり

一種細葉白花のもの
 武州志村の産なり

本草圖譜 卷之六 十八 澤園閣藏

地榆

小

丹參

花紅色の物



葉の形三尖ありて形如故小名は方茎地小
撮す莖は二三尺秋月穂とありて花あり唇の形の
如く又白根花の形小似て小なり故小又尾刈りて赤
きりと名は花紅紫をあり根ハ玄参に似て細く赤
色ありて溼あり

一種 花紅色の斑
あり



本草綱目
卷之六
十一
澤園
附錄

一種

野洲日光山あり
形拔紅花の物と
同トく花黄色根
細く色薄くして
下品なり



本草綱目

卷之六

丹参

二十

澤園
附錄

本草綱目 卷之六 紫參

紫參 なるそりのと

諸國深山に生る二月葉
先づ花穂を生し形
花小似て白色葉ハ虎杖
似て軟く背紫色かなり
根連珠をち一年一塊と
し外皮赤褐色肉淡
紅色これ漢書の説小亦
有似羊蹄者上と云れり



一種 なるそりのと

日光足尾九藏
峠小産するなる
そりのとあり葉
なるそりのと
莖長く葉ハ茎と
抱て三四葉互生す花の時遅根
連珠をち花色ハなるそりのと
同



本草綱目 卷之六 紫參 七 華園期藏



王孫 といのまゆを兒

處處山陰不あり宿根より生す茎紫を
頂は四葉對生は全く及巳に似て大なるを



一種 青莖の物

三尺花穂も及巳に似て長大に蘘茶の
説は葉ハ似及巳而大根長尺餘皮肉皆紫
色といふ符合先草をくを採るを
充れども根白色をれハ集解の説合がし

紫草 びりさ



南部より多く出づ三四月実を採りて
又宿根よりものは花五瓣白色実大
麻の如くやて白く根赤紫色なり

白頭翁

とまふくさ 和本名草



山野陽地小多一花
紫黑色実ハ白色の
毛の如く下へ垂る根ハ
牛房小似て瘡とく
短し

白及

志らん

人家小多く栽也花紅色
建蘭に似たり実ハ莢とる
根ハ扁螺の如く白色粘液
多し



一種 白花の物



三七

三七



真三七和産詳考
時珍の説は近傳一種草
といふ此の根を煎じ小薊に
似て刺るる花も薊に似て
黄色根は紅色なり



本草綱目 卷之六 十五 灌園 陽 癩

一種 水前草 俗和

ふさふさの三七の編ゆて
 葉小又長く根ハ鬚の
 如ク花紅黄色にて
 ふさふさのふ同ク葉と
 採煮て食ふべし

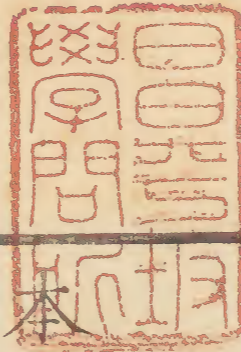


本草綱目 卷之六 十五 水前草 七六 灌園 陽 癩

本草圖譜

卷之六

九十六
潛
陽
藏



草圖譜卷之六終

椿齊

岡田清福模寫

